

# カルビーグループ決算説明会

2011年4月1日～2011年6月30日

カルビー株式会社 2011.8.3



掘りだそう、自然の力。

**Calbee**

# 2012年3月期第1四半期決算報告

---

執行役員 財務經理本部長  
平川 功

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	伸び率	計画比
	百万円	百万円	%	%
売上高	39,033	35,690	△ 8.6	99.1
売上総利益	16,021	14,444	△ 9.8	100.3
販売管理費	13,253	13,059	△ 1.5	101.5
販売費	4,652	4,487	△ 3.5	98.9
物流費	2,839	2,902	+ 2.2	109.0
人件費	3,715	3,740	+ 0.7	99.7
その他	2,045	1,928	△ 5.7	100.4
営業利益	2,768	1,384	△50.0	90.5
経常利益	2,746	1,271	△53.7	83.1
特別損益	438	15	△96.5	—
四半期純利益	1,612	566	△64.8	69.3

## 震災の影響を受け、減収減益

### 売上高

コーン系スナック等の一部製品を  
除き、減収

### 売上総利益

減収による利益減  
稼働率の低下

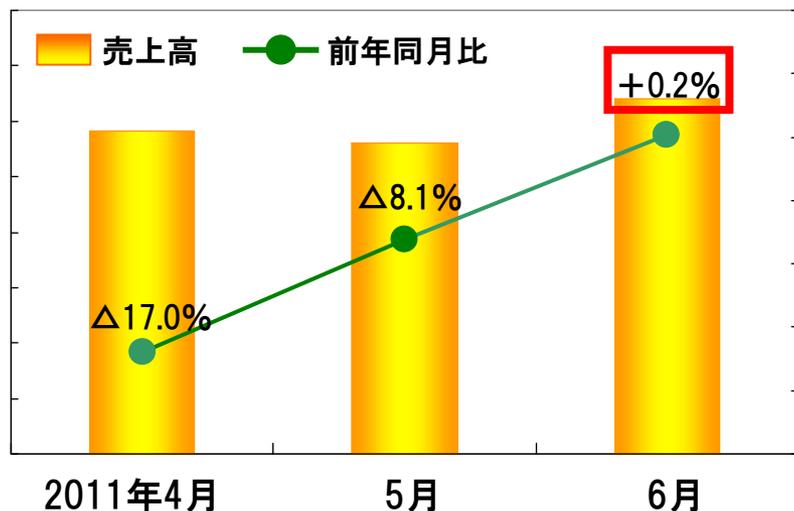
### 販売管理費

コスト・リダクションの推進  
物流コスト等は増加

### 特別損益

助成金受入益	+	230百万円
災害損失引当金 戻入額	+	128百万円
災害による損失	△	252百万円

## ■ 月次売上高推移 百万円



## ■ 減収要因 製品別 百万円

製品別	売上高	Δ	百万円
	売上高	Δ	3,342
ポテトチップス		Δ	1,155
じゃがりこ		Δ	860
ポテト系スナック計		Δ	2,410
小麦系スナック		Δ	1,086
コーン系スナック		+	234
海外・新製品		+	527
その他		Δ	609

### ■ ポテト系スナック

ポテトチップス・じゃがりこ

定番品に絞った展開

店頭プロモーション自粛

売上減

Jagabee

BOXタイプ一時休売



### ■ コーン系スナック

マイクポップコーン、チートス、

ドريتスが好調



### ■ その他

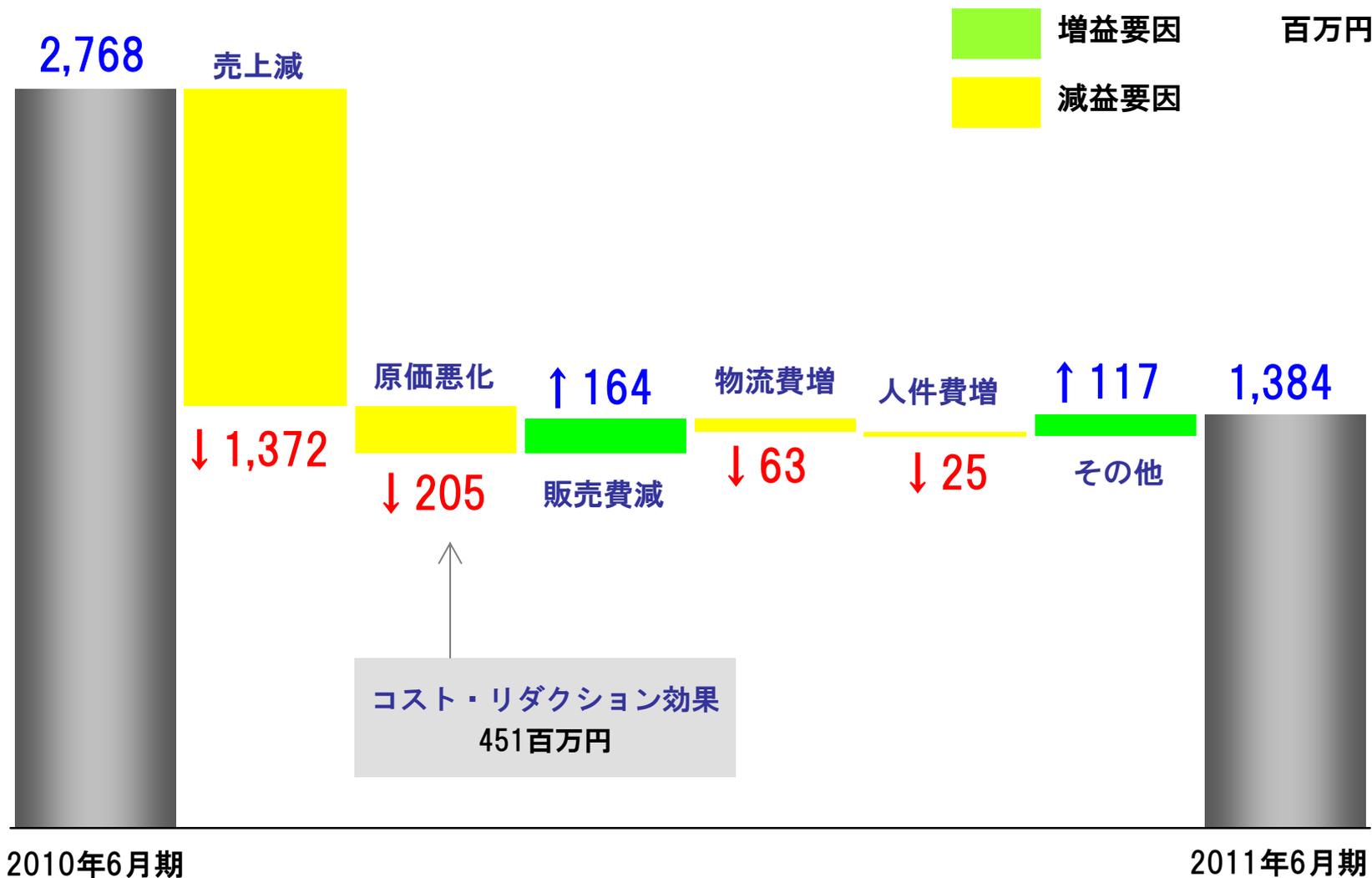
- ・ Vegips

5月上旬出荷再開

- ・ タイ好調



# 2012年3月期第1四半期 減益要因



# 計画達成に向けてのリカバリープラン

---

上級執行役員 総合企画・事業開発本部長  
外波山 昇志

## レビュー

震災による供給不安により

- 店頭プロモーション自粛
- 定番品に絞った展開
- 新製品展開の遅れ

▶ 4、5月は市場シェアダウン 6月はほぼ震災前まで回復

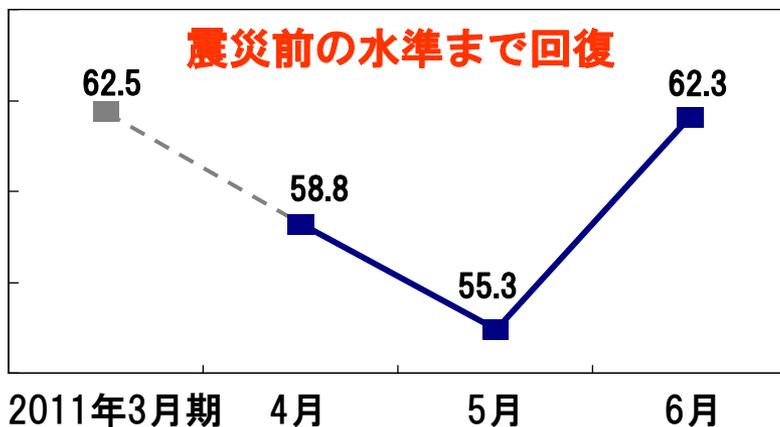
## リカバリープラン

- 店頭プロモーションの再開と強化
- 新製品（Jagabee、Vegips、ひとくち美膳）の販売拡大
- さらなるコスト・リダクション

## ■ 新製品発売数

	2010年 7月～9月	2011年 7月～9月	増減
スーパー マーケット	22	33	+11
コンビニエンス ストア	25	33	+ 8

## ■ ポテトチップス市場シェア



出所：インテージSRI・全国全業態 ベース：販売金額

## ■ ポテトチップス

新製品発売＋定番品のプロモーション



6月20日発売 6月27日発売 6月27日発売 7月11日発売

## ■ Jagabee

- ・ TVCF展開
- ・ パーティサイズ発売
- ・ 販売エリアの拡大



## ■ Vegips

販売エリア・チャネルの拡大

6/13～ 中部地区

8/8～ 近畿地区 CVS



## ■ ひとくち美膳

- ・ 震災の影響で本格展開は5月～
- ・ TVCF展開+サンプリング  
ブランド定着化を図る



## 販売体制の強化

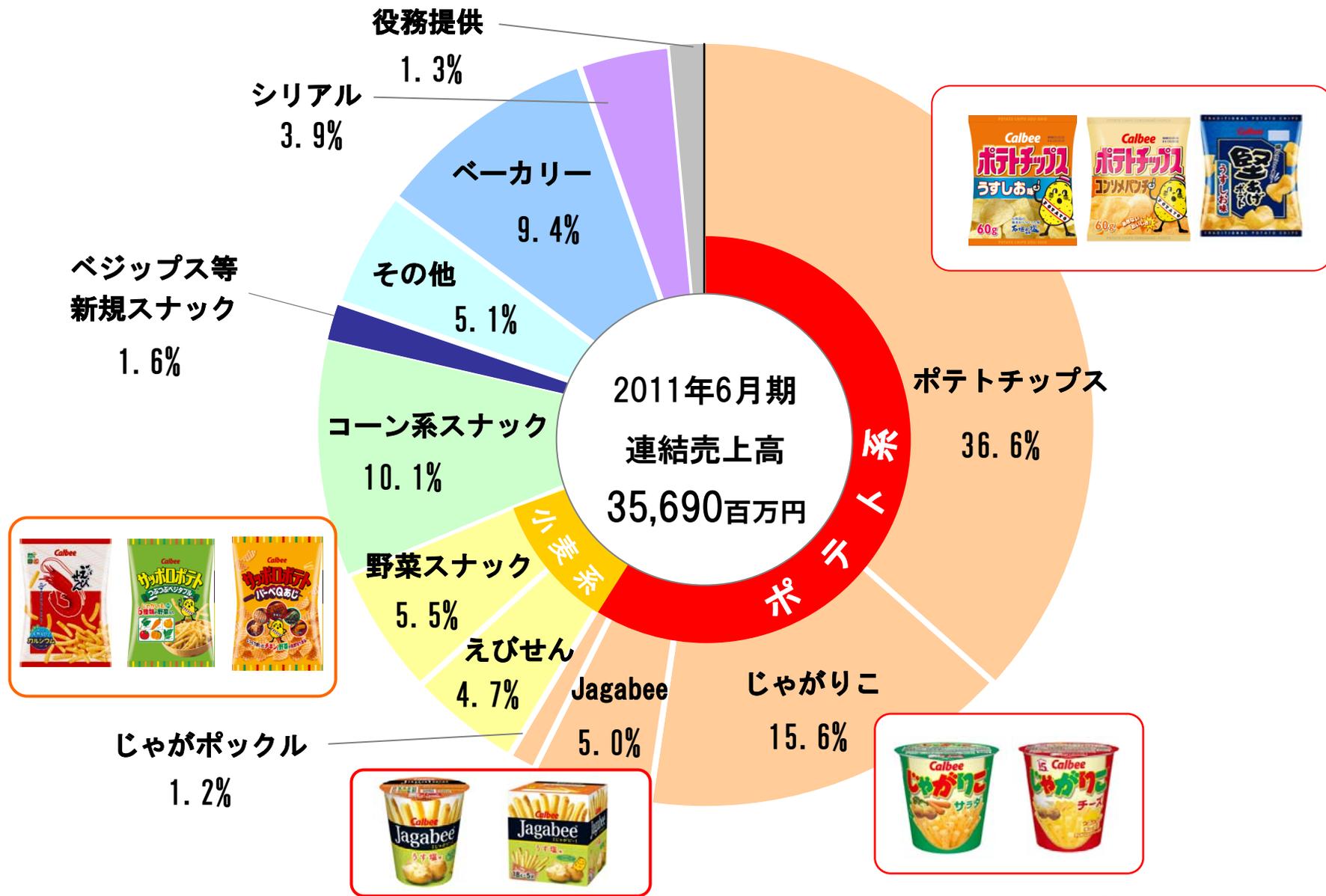
- 2011年4月営業体制再構築  
支店を複数のエリアに分割し  
エリア毎に営業チームを配置
- 営業員の店頭活動の活発化  
コール数倍増→  
お得意先様とのコミュニケーション強化

## コスト・リダクション

- 経費管理の徹底
- 資材廃棄の削減
- 集中購買とスペック見直しによる  
原材料費の削減
- サマータイム制導入による  
時間外手当の削減

# 参考資料

# 売上構成比



## 2011年8月3日開催 2012年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

**Q1** 当第1四半期の決算について、コストリダクション効果451百万円の内訳と原価悪化656百万円の内容をおしえてほしい。コストリダクション効果の年間の目標1,184百万円に対し、進捗率が高いと思うが、計画通りか？逆に、原材料価格の上昇については、年間2,500百万円に対し、第1四半期に阿立てた影響額が小さいように見えるが、計画通りか？

コストリダクション効果の内訳は、集中購買による原材料費削減が170百万円、減価償却費の減少が280百万円であります。コストリダクションの年間の目標額1,184百万円に対し、第1四半期の進捗率が高い理由は、減価償却費の減少部分を保守的に見積もっていたことによるものです。原材料価格については、徐々に上昇するとみており、当初見込み通りであります。

原価悪化の要因としては、原材料価格の上昇と工場が被災したことに伴う生産性の悪化がそれぞれ300百万円強であります。

**Q2** 製品カテゴリ別の伸び率を教えてください。

製品名	伸び率
ポテトチップス	△ 8.1%
じゃがりこ	△ 13.4%
Jagabee	△ 12.4%
ポテト系スナック	△ 10.4%
小麦系スナック	△ 23.0%
コーン系スナック	+ 7.0%
スナック計	△ 9.7%
その他食品	△ 0.9%
食品以外	△ 7.3%

**Q3** 当第1四半期のじゃがりこ、Jagabeeが他の製品より減収率が大きい理由は？

Jagabeeについては生産工場(新宇都宮工場)が被災したため、じゃがりこについては原材料の確保が十分できなかったことによるものです。

**Q4** 第2四半期の目標数値が高いのではないかと7月の売上高、利益の状況について、教えてください。

7月の数値は現在集計中であり、具体的な数値についてはコメントを差し控えていただきますが、カルビー単体の売上高は、前年同月を上回りました。

**Q5** JagabeeのTVCF展開についておしえてほしい。

震災後、TVCFの展開を控えていましたが、5月9日から新CF『じゅわーシズル篇』を展開しました(6月12日に終了)。

**Q6** 6月末の株式数が増加している理由は？

ストックオプションの行使によるものです。

**Q7** アメリカでの飲食業展開についての報道は事実なのか？飲食店を展開すると収益性が悪化するのではないかと？

7月10日に outlets したアンテナショップは、いわゆる飲食店ではなく、じゃがりこ、Jagabee、Vegips 等の

当社製品を小売店に近い業態で販売する店舗です。今後の展開については、1号店の状況をみながら決定したいと考えております。

以上